

住み慣れた地域での生活を考えるワークショップの開催報告（柏崎地区）

- 1 日 時 令和7年7月13日（日）10時から12時
 2 場 所 柏崎公民館 ホール
 3 対象地区 柏崎地区
 4 参 加 者 28人（地域関係者20人（民生委員、町内会、民間企業、福祉施設職員など）、八戸学院大学 学生5名、高齢者支援センター3名）

5 開催概要

（1）話題提供

「八戸市の高齢者を取り巻く状況」

八戸市 福祉部 高齢福祉課 主査兼社会福祉士 柏崎 雄介

「地域包括ケアシステムの解説」

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 講師 大木 えりか 氏

（2）ワークショップ（グループワーク）

テーマ 「柏崎地区での生活について考える」

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 講師 立石 真司 氏

- ・3つ選んで自己紹介（アイスブレイク）
- ・柏崎地区の将来像（どんな地域が理想か）について意見交換
- ・全体共有 各グループから検討した内容について発表

【主な意見】

項目	内 容
生活インフラ (道路・交通、公園、商業施設、娯楽施設等)	<ul style="list-style-type: none"> ・新井田川の地面がデコボコ→走りづらい、足が不安定で怪我しやすい→改善すれば健康につながる、怪我が減る ・道路を広く工事→子どもも高齢者も一般の人も安心 ・誰でも移動に困らない道の整備（段差や傾斜、雑草、石、点字ブロックなど）、歩道の整備（新設、拡張）、自転車が走りやすい道路 ・カーブミラーやガードレールの設置→子どもから高齢者まで安心 ・街灯を増やす→防犯上良い。全員が安心して通れる ・障害のある人でも移動しやすい道づくりや施設 ・バスやタクシーなど移動手段の充実 ・無料巡回バス（病院、店、役所）、銭湯行きの乗り合いバス、タクシー ・陸上トラックを近くに欲しい→走る人が増える→健康につながる ・サッカーゴール、バスケットゴールがある公園を作る→学生が集まる ・西類家に公園が無い、いこいの場があると良い ・公園の遊具の整備、充実化 ・イベントや交流の場のために駐車場を作る ・近場に商店街やスーパーを作る ・足の不自由な人でも買い物できる店が欲しい

	<ul style="list-style-type: none"> ・公園などで青空市場 ・学生が楽しめる店をもっと増やす→学生が増える ・スーパーが増えると、コンビニで高い買い物をしなくて済む ・コンビニやスーパーを増やす→学生から高齢者まで利用でき、人通り増 ・食品や日用品の買い物ができる店が増えて欲しい ・買い物しやすい体制づくり（移動支援、キッチンカー、移動販売、配達サービス） ・高齢者が外出しなくても買い物ができる環境 ・ネット等を使わなくても受けられる買い物のサービス ・自動販売機の種類が増えると高齢者の運動する機会が増える ・コンビニまで遠い→自動販売機を増やす→熱中症にならない ・近くに病院があると良い、銭湯があると良い（利用者同士の交流、高齢者の楽しみ）、銭湯が増えると通所介護に行かなくても良い ・小さくても良いのでシアターが欲しい ・こどもの国ではなく、おとの国をつくることで、夜9時から賑やかになる ・スナック（夜）、デイサービス（アルコールあり） ・ゴミ出しを24時間できる場所、手紙を出しやすいようポストを増設、出張ATM ・リーズナブル若しくは無料のサポートサービスがあれば良い ・産業を作る→スタートアップ支援 ・生活圏のコンパクト化（インフラ、生活道路、スーパー等の整備）
空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家問題→補助金を活用し草刈り、安否確認、掃除、包括サービスを民間で開発 ・空き家を駐車場や住宅地にすると若い人も集まる ・空き家（特にアパート）が少なくなると治安が良いイメージ ・空き家を活用した全世代が集まれる所
住民同士の交流・助け合い 町内会 地域行事	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの方に声かけをして、行事に来てもらう ・元気な高齢者の方が地域の子どもたちの見守りをしてくれることで、地域の子どもたちが安心して暮らせる ・地域の人たちの顔合わせの機会をつくることで、地域の人を知ることができ安心して暮らせる ・人間関係を密にする ・このような集い（ワークショップ）が月に一度あると良い ・年齢問わず住民同士、近所同士が楽しく交流できる場やイベント、サロンを開く（施設、保育所など） ・高齢者が多く出られるイベントがあると良い ・公民館以外の公共の場がない ・ペットを連れて集まれるところ→ペット仲間を作る（コミュニティ）

	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室に高齢者＆親子が参加（町内の区域で分けてみる） ・高齢者用シェアハウスの建設 ・雪片づけをボランティアにお願いする、草取りを近所で行う ・地域でのボランティアをする人が増える、メリットを知る ・町内会を統合する ・町内会の入会率低下➡イベントを開く ・町内会への参加が増えて子どもたちと高齢者とのつながりを設ける ・町内会の活動を知ってもらう ・町内会の担い手がいない、若手の力が欲しい ・町内会の中でも、一人暮らし世帯や老夫婦世帯を教える体制 ・地域の行事等（伝統文化）で世代交代を進めて活性化する ・地域の祭りを復活させたい（子どもや若い人と交流、学生の楽しみ） ・どんど祭 ・三社大祭、えんぶり（伝統芸能）への参加、文化の継承 ・北東北ミニ六魂祭を開催することで柏崎地区が潤う
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・通学の子どもたちにあいさつをする、 ・もっと周辺の学校に介護の事を知ってもらう ・子どもの集まるサロンや居場所、子どもの安全な遊び場（屋内・屋外）、こども食堂 ・子育てサポート支援、仕事や大変な時に手伝って欲しい ・子供同伴でできるボランティア活動 ・子ども会が無い➡子ども会を作る ・子どもが参加できる行事等（例）もちつき大会
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難場所が増えると安心して暮らせる ・柏崎地区に高い場所が無い、避難場所が遠い ・防災センター ・災害時にどう助け合うか
情報・SNS その他	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット、SNS 学習会 ・SNS をうまく活用する ・健康教室や学習会の開催 ・困った時に電話して相談できる場を作る ・人口問題➡高齢化率を下げる ・若い人たちが勤めることができるよう会社の誘致